

岡山大学病院IVRセンター—市民公開講座

切らずに治そう3大国民病 — がん・心臓病・脳卒中 — 岡大病院の最先端IVR治療

入場
無料

日時

平成25年 **7月21日(日)**

13時～15時30分 (12時30分開場)

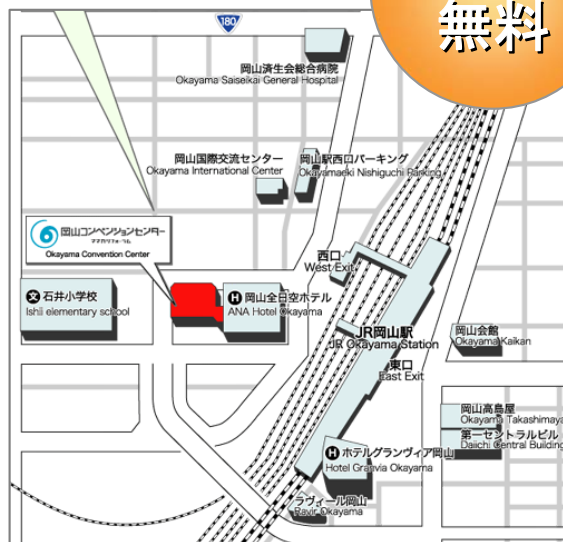
会場

岡山コンベンションセンター
(ママカリフォーラム)
1F イベントホール

アクセス: JR岡山駅 西口から徒歩3分

受付

事前受付 及び 当日受付



事前受付ご希望の方は、Faxにて参加代表者氏名・住所・参加人数(1枚につき6名まで)をご記入の上、下記までお送り下さい。Faxが不可能な方は電話にても受付いたします(平日の9-17時まで)。当日受付も可能ですが、事前受付の方から優先させていただきます。(先着300名様)

宛先:岡山大学 脳神経外科市民公開講座係

Fax:086-227-0191(電話: 086-235-7336)

プログラム

開会挨拶: 金澤 右 (IVRセンター長)

司会: 杉生 憲志 (IVR副センター長)

講演: 各種がんに対するIVR治療	(がん・総合部門)	郷原英夫)
小児循環器疾患に対するIVR治療	(小児循環器部門)	馬場健児)
心臓病に対するIVR治療	(循環器部門)	中川晃志)
脳卒中に対するIVR治療	(脳神経外科部門)	杉生憲志)
IVRセンターにおける麻酔科医の役割	(麻酔部門)	西江宏行)

“IVR”とは、インターベンショナル・ラジオロジー(Interventional radiology)の略で、がんや心臓・血管の病気、脳卒中などに対して画像でガイドして行う先端的治療です。X線透視、CT(コンピューター断層撮影)、超音波、MRI(核磁気共鳴画像)などの画像で体内の病変を確認しながら、細いカテーテル(管)や針を用いて病変に到達して治療を行います。体に傷跡が残りませんし、とても高い治療効果が期待できます。また、治療中や治療前後の体の負担も少なく、心と体に優しい低侵襲治療です。今回、各科のエキスパートが、日本人の3大死因であるがん・心臓病・脳卒中に対する、切らずに治す最先端の治療法を解説します。